

令和4年度第2回中央区緑化推進委員会 議事概要

【出席者】

学識経験者：鈴木委員長、木下委員
区民・事業者代表：中島委員、岸本委員、田中委員
区職員：浅沼委員、三留委員、松岡委員
事務局：水とみどりの課、(株)エイト日本技術開発

【配布資料】

- ・議事次第
- ・委員名簿
- ・座席表
- ・資料-1-① 桜川公園官民連携事業（P-PFI）の導入検討
- ・資料-1-② 渋谷区立北谷公園・渋谷区立恵比寿南一公園概要
- ・資料-1-③ 参考資料 サウンディング資料一式
- ・資料-2 令和5年度中央区緑化推進委員会について
- ・参考資料 令和4年度第1回中央区緑化推進委員会 議事概要

議題1 公園の魅力向上に向けた官民連携について（資料-1）

	意見内容
中島委員	<ul style="list-style-type: none">・ 区としての P-PFI に対するイメージや方向性はどのようなものであるか？ ⇒ (事務局) 公園は様々な使い方があり、地域ごとの違いや桜川公園特有の使い方もある。地域へのヒアリングなどにより現地の利用状況の確認、整理を行ってきている。P-PFI は公園内に民間事業者が建物を作り、事業活動を行っていくことになる。そういったことが地域の方々が望むものなのかは精査が必要。サウンディング調査では複数の事業者との意見交換を行ってきており、来年度以降、事業者選定委員会において実施していくのかを含めて検討していくことになる。
三留委員	<ul style="list-style-type: none">・ 中央区に合った事業であるのかは、きちんと見極めていく必要がある。今までお示しているものは、P-PFI を実施する上での一般的なスケジュールである。事業者選定委員会などにおいて、P-PFI のみを取り入れていくのか、また別のシステムを加えていくのか議論をする時間を少しはいただいて進めていきたい。
岸本委員	<ul style="list-style-type: none">・ 学生などに提案してもらい、今の若い方たちが望んでいる公園や P-PFI への考え方を吸い上げて、設計課題に組み込み、本の森などに展示するなどを行っていけると、活気づいてくると思う。

	意見内容
木下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業等に取り入れたり公表の場をいただけるとすると、学生の励みにもなり大学としてもうれしいことである。区民の方にも学生のアイデアをお伝えする良い機会となる。このタイミングでそういったことが可能であるかは、区と相談していく必要がある。 ・ P-PFIに対する区としての考え方は、4月～5月に公表される公募設置等指針に打ち出せるのが良いが、どこまで書き込めるのか、悩ましいところである。複数の事業者から公募への参加の意向をもらっているが、提案の方向性があまりにも違っていると選ぶのが大変である。そのため、公募設置等指針に区としての大きな方向性が示すことができるとうい。どのように考えているかお聞きしたい。 <p>⇒ (事務局) 桜川公園は、本の森ちゅうおう、桜川屋上公園、亀島川沿いの緑道など周辺のエリアが持っているポテンシャルを最大限に活かせる施設でないといけないと考えており、念頭に入れて検討していきたい。</p>
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果を見ると、近くに住んでいる家族や子供たちには、遊び場やフリーマーケット、マルシェが求められていたり、平日には周辺で働いている方が緑陰の中でお弁当を食べて過ごす場所が求められるなど、その日その時間によって公園に求められるものが異なっている。それらをまとめてどのようにデザインしていくのか。一方で気候変動など様々なテーマがある中で、都市の中の環境としてこの場所をどのように活かしていくのか。目的や方向性をみんなで共有できた方が後々のために良い。P-PFIは事業者が収益をあげられなければならない、事業者が変わっていくこともあり得るため、当初の目的を見失わないように、また多様な役割があることを認識した上で作っていった方がよいのかなと思う。 <p>⇒ (事務局) これまでも公園の管理については、ボランティアや自主管理など様々な管理の仕方を実施してきたが、P-PFIは初めての取り組みとなるため、様々な方の意見を伺いながらやっていきたい。事業選定委員会でそのあたりをしっかりと汲んでいき、緑化推進委員会に報告していきたい。</p>